

市民向け がん情報講演会

がんの予防や医療についての正しい知識を！

「がん患者とその家族 ～家族ががんになったとき～」

日 程：2007年7月15日（日）13:30～16:00

講師：佐伯 俊成（広島大学病院 医系総合診療科）

「家族ががんになったとき～心という治療力を高めるための6か条～」

講師：田村 里子（東札幌病院 医療相談室ソーシャルワーカー：社会福祉士）

「がん患者の家族を支える～ありのままを毎日の暮らしの中から～」

対 象：テーマに関心のある方 参加費：無料

会 場：国立がんセンター築地キャンパス（東京・築地）

中継会場（多地点 TV 会議システムでご参加いただけます）

北海道がんセンター（北海道札幌市）	青森県立中央病院（青森県青森市）
岩手県立中央病院（岩手県盛岡市）	宮城県立がんセンター（宮城県名取市）
山形県立中央病院（山形県山形市）	群馬県立がんセンター（群馬県太田市）
茨城県立中央病院（茨城県笠間市）	埼玉県立がんセンター（埼玉県北足立郡）
千葉県がんセンター（千葉県千葉市）	国立がんセンター東病院（千葉県柏市）
新潟県立がんセンター（新潟県新潟市）	静岡県立静岡がんセンター（静岡県駿東郡）
愛知がんセンター（愛知県豊田市）	大阪府立成人病センター（大阪府大阪市）
呉医療センター（広島県呉市）	四国がんセンター（愛媛県松山市）
九州がんセンター（福岡県福岡市）	

参加申し込み方法：

お名前、ご住所、希望会場名をご記入のうえ、FAXまたははがきにてお申し込みください。

締め切り：2007年7月6日（金）17:00 必着。折り返し参加証をお送りします。

なお、受講のご希望が多い場合には、ご希望に添えないこともありますのでご了承ください。

送付先：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がんセンター がん対策情報センター「市民向けがん情報講演会」宛

FAX: 03-3547-6074 TEL: 03-3547-5201 (ex. 5685)

当日受け付けは、会場に空きがある場合のみとなります。

主催 国立がんセンター がん対策情報センター

がん医療についての「正しい知識」を！

資料3

国立がんセンター がん対策情報センター主催

第2回 市民向けがん情報講演会

がん情報のさがし方

11月3日（土）13:30～16:45

国立がんセンター築地キャンパス（東京都中央区築地）

参加
無料

講師 天野 慎介（NPO法人 グループ・ネクサス）

増岡 健一（東京大学 医療政策人材養成講座）

若尾 文彦（国立がんセンターがん対策情報センター）

全国 17カ所の会場からもテレビ会議システムで参加できます。

北海道がんセンター（北海道札幌市）	茨城県立中央病院（茨城県笠間市）	大阪府立成人病センター（大阪府大阪市）
岩手県立中央病院（岩手県盛岡市）	埼玉県立がんセンター（埼玉県北足立郡）	呉医療センター（広島県呉市）
山形県立中央病院（山形県山形市）	千葉県がんセンター（千葉県千葉市）	四国がんセンター（愛媛県松山市）
茨城県立中央病院（茨城県笠間市）	国立がんセンター東病院（千葉県柏市）	九州がんセンター（福岡県福岡市）
宮城県立がんセンター（宮城県名取市）	新潟県立がんセンター（新潟県新潟市）	沖縄県立中部病院（沖縄県那覇市）
山形県立中央病院（山形県山形市）	静岡県立静岡がんセンター（静岡県駿東郡）	
群馬県立がんセンター（群馬県太田市）		

参加ご希望の方は、お名前、参加証送付先（住所、電話番号）、希望会場名をご記入の上、FAXまたははがきにてお申し込みください。

先着順に参加証をお送りいたします。

参加申し込みは、印刷した用紙に記入してください。

「市民向けがん情報講演会」事務局（平日 10:00～12:00、13:00～17:00）
〒180-0013 東京都武蔵野市西久保 1-3-12 オークビル5階
Tel: 0422-59-1898 Fax: 0422-59-1809 e-mail: ojinfo@oscar-japan.com
このたびの講演会事務費は、オスカ・ジャパン株式会社委託しています。

当日の印刷用紙をがん情報サービス（ウェブサイト）に掲載します。
また、印刷用紙の全量（印刷代）が「がん情報サービス」に掲載します。
いただいた参加費は、がん情報サービスの運営に充てさせていただきます。講演会終了後は、国立がんセンターがん対策情報センターの施設に返却していただきます。

主催：国立がんセンター がん対策情報センター <http://ganjoho.ncc.go.jp/>

『家族ががんになったとき～心という治療力を高めるための6か条～』 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

患者さんをささえる家族のための6か条

- がん情報を集めましょう
- 自分にどういった援助ができるかを考えましょう
- 患者さんの言動の変化や反復をあらかじめ想定しておきましょう
- 患者さんの要望をよく聞きましょう
- 患者さんの要望に沿っているかどうか常に確認しましょう
- 家族も自分の生活を大切にしましょう

平成19年度 第1回市民向けがん情報講演会『がん患者とその家族～家族ががんになったとき～』

佐伯 俊成
広島大学病院 医系総合診療科



アウトライン

スライドタイトル	長さ
魚さんとは	00:47
魚さんをささえる家族の...	00:13
魚さんをささえる家族の...	01:09
残り: 14分 15秒	

がん情報さがしの10カ条

- ① 情報が、あなたの治療を左右することがあります。活用しましょう。
・情報は力です。いのち、生活の質、おカネの点で、違いも生じます。
- ② あなたにとって、いま必要な情報は何か、考えてみましょう。
・解決したいことは？ 知りたいことは？ 悩みは？ メモに書き出して。
- ③ 主治医とよく話してみましょう。
・あなたのがんを一番知っているのは主治医。時間をとってもらい、質問を。
- ④ セカンドオピニオン（別の医師の意見を聞くこと）を活用しましょう。
・他の治療法や、もっと実績がある医療機関が選択肢となることも。
- ⑤ 医師以外の医療スタッフも活用しましょう。
・看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師なども、大切な情報源です。

- ⑥ がん拠点病院の相談支援センターなど、質問できる窓口を活用しましょう。
・がん病院、患者団体などに、あなたを助けるための相談窓口があります。
- ⑦ インターネットを活用しましょう。
・自分で使えなくても大丈夫。使える人（ご家族やお友だち）に頼めます。
- ⑧ 手に入れた情報が本当に正しいのか考えてみましょう。
・筋が通っているか、信頼できる情報源か、商品の売り込みでないか、注意。
- ⑨ 健康食品や補完代替医療の広告には注意しましょう。
・がんへの効果が証明されたものは、ほぼ皆無。有害なことも。
- ⑩ 得られた情報を判断する前に、周囲の意見を聞きましょう。
・主治医の意見はどうでしょうか？ ご家族にも相談を。

『がん情報サービス』はこちら ▶ <http://ganjoho.ncc.go.jp/>
国立がんセンター がん対策情報センター

2007年11月